

カラス被害を防ぎましょう！

事業活動で発生したごみもカラスに狙われています！
都市部にカラスが集まる要因の1つは、エサとなる生ごみが豊富にあることです。
カラス被害を減らすには、ごみの出し方を工夫することが大切です。
カラス被害から街を守るため、ぜひご協力をお願いします！

実際の散乱被害のようす



対策をせずごみ（生ごみ等）を排出したため、カラスに袋を荒らされ、ごみが道路に散乱してしまっています。

4月～7月はカラスの繁殖期であるため、被害が特に多く発生しています！

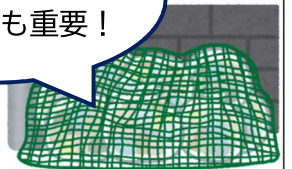


カラス対策事例

①敷地内にごみ保管ボックスや防鳥ネットなどを設置する

- ・ネットはごみ全体を覆えるもので、端に重りがあると効果的です
(設置するときは、ごみを収集している許可業者に相談してみましょう)

目が細かく、すき間がないことも重要！



②カラスは目で食べ物を探するため、食材や残飯が見えないように排出する

- ・生ごみを詰め込みすぎず、ごみ袋が破れないよう適量で排出することも重要です

③ごみを排出してから収集されるまでの時間を短くする

- ・決められた収集日を守りましょう
- ・排出時間などを許可業者に相談してみましょう



ごみがカラス被害にあわないように、ごみを排出してから収集されるまでのごみの管理は、排出者が責任をもっておこなってください。

カラス対策を行い、きれいな街を守りましょう！

